

RENMEIみやぎ



目次

会長あいさつ・ごあいさつ	2~5P
熊本地震お見舞	5P
北海道・東北ブロックポリナビワークショップ in 宮城	6~9P
たかがい 恵美子総決起大会	10~11P
日本看護連盟通常総会開かれる	12~13P
宮城県看護連盟通常総会開催	14~15P
たかがい 恵美子参議院議員 (10日間・選挙カーが宮城県内を廻りました。)	16~21P
たかがい 恵美子議員・草間朋子会長が当選報告に来県しました。	22~23P
第24回参議院議員選挙宮城県地域別得票数	24~25P
都道府県別会議・リーダーセミナー	26P
研修会のご案内・お疲れ様でした!!	27P
会員募集・編集後記	28P



あいさつ

宮城県看護連盟会長 **富田 きよ子**

日本列島を直撃し各地に被害をもたらした台風16号が去り（宮城は雨台風）宮城県は朝夕秋を迎えました。台風で被害を受けられた皆様に心よりお見舞申し上げます。

たかがい恵美子先生2期目の参議院選挙当選おめでとうございます。

マイク納めの日の仙台駅周辺は人、人、人でいっぱいでした。その中、標旗を背中に貼ったウグイス担当者とたかがい先生が歩き、その前後を草間会長や佐藤副会長、宮城県連盟会員がピラを渡しながら歩き、歩き、歩き回り、そして選挙カーの上で、たかがい先生は最後の演説を行いました。いつものように理路整然と凛とした声で話す先生を下から仰ぎ見て良い結果につながることを確信しておりました。連盟会員や看護職、国会議員、県議会議員、市議会議員の先生方、そして後援会の皆様、地域の皆様に多くのご支援を頂きました。

宮城県の獲得票6,060票が輝いています。22回選挙時より389票が上乘せされました。皆様ほんとうにお疲れ様でした。9月3日に都道府県別会議があり佐藤エキ子副会長のご出席のもと、第24回参議院選挙の総括が行われました。佐藤エキ子副会長は挨拶の中で、たかがい議員からの選挙活動に対して、感謝の言葉を伝えられるとワーという歓声が上りました。一番聞きたかった喜びあふれる本部からの報告でした。13支部から活動内容を発表し総括いたしました。46名で行った約1万枚のピラやポスターのシール貼り、ポスターが少なく、貼ってもインパクトがない等と話題にのぼりました。今後の課題は18歳選挙権をもつ看護学生への働きかけです、宮城県内の看護学校にポスターを送りましたが、手ごたえはあまり感じられませんでした。

具体的な検討が必要です。課題は次の選挙まで解決していきたいと思います。

今回、たかがい先生は宮城県連の最重要候補者として承認され、各議員の先生方が選挙カーの行く先々で車の誘導、人集め、スピーカーとしても活躍してくださいました。大変お世話になりました。企業の皆様にも頑張ってくださいました。まさに他職種協働で調整能力・対応力が問われた選挙でしたが、連盟の軸はぶれずに柔軟に対応しました。票を伸ばした分、厳しい選挙戦でしたが、さまざまな困難は私達のハードル、と思って頑張りました。応援してくださる皆様に信じて2016年前期は選挙活動・運動に明け暮れました。おかげ様でした。たかがい参議院議員の更なるご活躍を期待しております。



ごあいさつ

日本看護連盟会長 **草間 朋子**

朝夕の涼風に、秋の気配を感じ、急速な季節の移り変わりを実感している今日この頃です。第24回参議院選では、猛暑の続く中、たかがい恵美子議員の出身県である貴県の連盟のみなさまには、富田会長のリーダーシップの下、全力投球でがんばっていただきまして心から感謝申し上げます。選挙活動・選挙戦を通して、看護政策を実現していくためには、「政治の力」「看護職を代表する国会議員の力」が如何に重要であるかを再認識し、「看護連盟の力」をさらに強化していかなければいけないことを肝に銘じております。「数は力」です。看護連盟に加入していない看護協会会員のみなさまには、就労環境、教育環境の整備等、山積している看護の課題は、看護職自らの手・力で解決していかなければいけないこと、そのためには「連盟の力」が不可欠であることを知ってほしいと思います。連盟の会員のみなさまに協力いただき、協会会員の連盟への加盟率を上げていくことを当面の重点目標にしていきたいと思っております。ちなみに、連盟加盟率の47都道府県の平均は約30%、貴県は16%です。私たちも、協会に向けて会員増への協力をしっかり提言してまいります。



ごあいさつ

参議院議員 **高階 恵美子**

皆さまこんにちは。第24回参議院通常選挙におきましては、看護の固い結束をもって、再選の栄誉を勝ち取ることができました。

擁立方針の確認から73週、候補予定者の決定から55週の間、労苦を惜しまず活動される皆さまに励まされ、感謝する毎日でした。ともに苦難を乗り越えることができましたことを実に感慨深く、誇らしく思います。

私たちのこれまでの活動を通じて「看護力は国政を健全化する牽引力になる」ことが立証されました。これからは、いのちの現場の声を活かした政治の一層の推進に力を尽くして参ります。

国家国民の健やかなる発展と暮らしの安寧のために、力を合わせ看護の知恵と経験そして技術を存分に活かして参りましょう。



ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

宮城県看護連盟の皆様、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

参院選の結果、たかがい恵美子議員を国政の場へ送り出すとともに、歴史ある看護の議席を堅守することができました。宮城県看護連盟の皆様にも多大なるご尽力を賜りましたことに、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。

また去る8月の党内人事におきまして、副幹事長の役職を拝命いたしました。党務においても役割をしっかりと果たせるよう精一杯努めてまいります。

さて、今後に向けた国の動きとしては「新たな高等教育機関」の制度化の検討が始まっています。看護をはじめとした日本の職業教育をさらにより方向へと発展させていくことを目指し、重要な議論を展開しています。看護職の教育環境と労働環境、そのどちらにおいても看護がさらにより良く発展していくためのお役に立てるよう、現場の声をお聞かせいただきながら引き続き全力で取り組んでまいります。今後とも皆様からの温かいご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



ごあいさつ

参議院議員 石田 昌宏

宮城県看護連盟の皆様、平素よりお世話になりましてありがとうございます。日ごとに秋の気配も深まる永田町では、平成29年度予算編成作業が進行しています。看護関係では、「特定行為に係る看護師の研修制度」の推進、看護職員の確保・勤務環境改善対策の推進、夜勤負担の軽減、健康に配慮した勤務環境改善、求人・求職に係るナースセンター・ハローワークの連携の強化、介護施設等における看護人材の育成・定着に向けた研修支援の充実等々が重要項目です。これらの予算獲得に向けて尽力してまいります。

国会議員の重責をいただいてから丸3年が経ちました。初心を忘れず、現場主義に徹し、これからも皆様の元を訪問させて頂きますのでお声を聞かせてください。

現場で働く皆様が「今日もいい看護ができた!」と実感し、輝きをもって看護を行うことができるよう、これからも国政の場で頑張ってまいりますので、引き続きのご支援をお願い申し上げます。



ごあいさつ

衆議院議員 木村 弥生

宮城県看護連盟の皆さま、こんにちは。

参議院選挙の応援お疲れ様でした。私も一生懸命に応援いたしました。たかがい恵美子先生の当選を皆様と共に嬉しく誇らしく思っております。

私が初当選を果たしてから、早いもので1年9か月が過ぎました。

1年生議員として、どうかこの間を駆け抜けることができたのも、看護職の先輩議員の皆さまにお育ていただいたからだと思えます。

さて、今年4月、私は自民党京都府第三選挙区(京都市伏見区、長岡京市、向日市、大山崎町)支部長に選任されました。昨年からは看護政策はもちろんのこと、医療的ケアが必要な障害児の支援、養子縁組のあっせんの法案等に関わり、今年3月には待機児童問題特命チームの座長に就任しました。これからは現場の最前線でいただいたご意見やご要望を政策に反映し、子どもたちが健やかに成長していける社会づくりを目指します。京都三区にご家族・親類・ご友人等がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただけますようお願いいたします。

熊本地震お見舞

平成28年7月22日

熊本県看護連盟
会長 重松 節美 様

宮城県看護連盟
会長 富田 きよ子

熊本地震義援金のご送金

拝啓 盛夏の候いかがお過ごしでしょうか

2016年4月14日と16日に熊本県で発生したマグニチュード6.5 および7.3の地震は熊本県人にとって予期せぬ災害であったとお聞きしております。

地震・津波を経験している私たちは、すぐに熊本県看護連盟の皆様のお役にたてればと義援金を集めましたところ 916,410万円集まりました。

地元出身のたかがい恵美子議員の参議院選挙活動が忙しくて送るのが遅くなりましたこととお詫びし、些少ではございますが、貴看護連盟の災害支援の一助として頂きたく送金させていただきました。お納めください。

草木も暑さでぐったりしております、皆様お疲れのことと存じます、どうぞお身体を大切に過ごしてください。

敬具

平成28年8月2日

宮城県看護連盟
会長 富田 きよ子 様

熊本県看護連盟
会長 重松 節美



熊本地震義援金御礼状及び領収書の送付について

この度の平成28年熊本地震に際し、心温まるご支援をいただきまして誠にありがとうございました。謹んで御礼申し上げます。

地震発生から早くも3ヶ月が経過しましたが、未だ余震が続く予断を許さない状況です。

このような中、義援金をいただきまして心から感謝申し上げます。熊本の復興のため有効に活用させていただきます。

また、領収証を同封いたしますのでご査収くださいますようお願いいたします。

未筆ではありますが、義援金をお寄せくださいました皆様のご健勝をお祈りいたしますとともに深く感謝の意を申し上げ、ここに御礼の御挨拶とさせていただきます。

北海道・東北ブロックポリ (平成28年5月7日)

テーマ：「看護師を議員として国政に送る活動」
 講師：宮城県看護連盟名誉会員 齋田トキ子先生
 グループワーク
 「仲間をさそって選挙へ行こう！！」
 講演：「看護の未来をみつめて」
 自由民主党女性局長 たかがい恵美子参議院議員



仙台厚生病院 鳥畑 麻衣

5月に行われたポリナビワークショップに参加させていただき、齋田先生、高階議員からのご講演、「仲間を誘って選挙に行こう」というテーマのもとグループワークを通し様々な学びを得ることができました。自分自身今まで政策・政治にはあまり興味を持っておらず、なかなか選挙に行くこともなかったのが現状でした。しかし今回のポリナビに参加し、国政へ看護の代表を送り出す意義や、改正が行われ今までより投票しやすい環境になりつつあるということを知り、看護師の地位向上や環境改善を望むに当たって自分にもできる第一歩はまず選挙へ参加することではないかと感じました。まだまだ政治や政策に対し興味を持っている若手看護職は少ないと思います。看護職が国政に関わることについて興味を持ってもらうためにも、今回の経験を周囲にも伝えたいと思いますし、積極的に今後も研修など機会があれば参加していきたいと思っています。

宮城県看護連盟青年部委員長 高樫慎太郎

平成28年5月7日仙台ガーデンパレスにおいて、第3回北海道・東北ブロックポリナビを開催しましたので、報告いたします。

思い返せば、平成27年7月に青年部が組織され、1年が経とうとしていました。出来たてのチームで、初めて挑んだ11月の県内ポリナビ開催準備と、私自身初めてである県外関係者との連携を含めた本会開催準備は、羅針盤を持たない航海を行っているような心持ちでした。

さて、本会開催にあたって、3つの目標を定めました。

- 1つ目は、「選挙を2ヶ月後に控えた高階恵美子参議院議員を若手会員に知ってもらうこと」、
- 2つ目は、「所属施設の外にあるネットワークを若手会員に感じてもらうこと」、
- 3つ目は、「国政と看護の関係を知る機会とすること」としました。

今回実施したアンケート結果によると、齋田トキ子先生の講演に対して「今の看護師の地位を確立するために、実際に奮闘された先生の話聞いて、自分の看護師としてできることを考える機会になった」、高階恵美子参議院議員の講演に対して「初めて話を聞いて、先生の仕事を理解できた」「自分の声を一票、届けようと思った」という意見がありました。開催時期が選挙直前であったことから、2つ目の目標は達成できなかったように思いますが、参加者に高階恵美子参議院議員の活動を知ってもらうこと、国政と看護の関係を知ってもらうことができた会であったと考えます。

感想としては、準備から開催まで、チームで明確な目標に向かって前進していく素晴らしさと、チームで前進するための報連相の大切さを改めて感じた良い経験になりました。

最後に、富田会長はじめ、励ましてくれた連盟役員の方さまや同僚の皆様、当時幹事として青年部を導いてくれた佐藤幹事長、共に準備した青年部の仲間達のおかげで、盛会のうちに閉会を迎えることができました。心より感謝申し上げます。加えて、本会実行委員の方々には、多くのアイデアと当日の役割遂行にご協力頂きました。誠にありがとうございました。

青年部一同、今回得た経験を内省し、看護のより良い未来のために更に精進する所存です。何卒ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



ナビワークショップ in 宮城

仙台ガーデンパレス

北海道看護連盟幹事 小畑 奈未

選挙に行こうというテーマにて話し合った結果

まずは選挙行動につながるもの、投票へ行こうと思うものはなにか？とまずは話あってみました。

- ・選挙に行くことは国民の義務だから行く。
 - ・20歳過ぎて身内からも大人になったといわれ、将来に向けて自分の仕事の為に働いている人、状況の改善に向けて自分の意見を代弁してくれる人がいたら選挙に行こうかなと。
 - ・選挙に行かないといけないと思ながらもまだ行ってないこと。
 - ・興味をもてたら行けるのに。
 - ・投票行動には自分に何か見返りがあると行くのではないかな？
 - ・注目されてる人がでていって行く。
 - ・選挙自体が盛り上がっていると行く。
- (大阪の選挙・都構想、アメリカのトランプさんとか。)

インターネットでの投票ができるといいかも。
選挙に行こうというタイトルではなかなか意見を述べることは難しいと思われ、ではどうしたら選挙に行くか？というタイトルで掘り下げて話あってみてます。

青森県看護連盟 本間 貢

今回青森県看護連盟青年部長としてポリナビに参加して3回目でした。毎年どの県も思考を凝らした楽しいワークショップですばらしいと思います。

政治を通して、看護の世界をどうすれば働き続けられる環境が整っていくのかなど、若い世代から考えていく事が大事であると毎回参加して思うところで。

特に今年度担当の宮城県看護連盟の役員や青年部のスタッフの方々には本当にお世話になりました。ご苦労様でした。

今回は7月に行われる参議院選挙のため、ポリナビの時期としては5月の連休のさなかということで参加者数が心配でしたがそれなりの人数規模となったのではないかと思います。また、会場も広く駅から近くて良かったと思います。

まず、齋田トキ子先生の基調講演に関しては看護の歴史と政治についての関わりを知ることができ勉強になりました。講演時間の配分について難しいと思いますが、資料内容と照らし合わせた打ち合わせが必要だと思います。

グループワークについて、グループそれぞれに1名ファシリテーター役を配置できたことは短い時間の中でも話の流れがスムーズに出来たのではないかと思います。

私のグループでは、看護連盟に入会してから看護と政治の繋がりと関わりを知ったという人が大半でした。どこへ行けば選挙ができるのかと若い人は知らない人が多いということもわかりました。その中で、どうすれば選挙に行く人を多くできるかの意見ができました。

コンビニやスーパーで気軽に投票できることや、インセンティブなど特典が付けば投票率が上がるのではないかなどユニークな意見も上がっていました。いずれにしても日本の制度に関することや政治への関わりによって看護の世界を変えられることを周囲に広めて行かなければならないのは私たちであることを確認し合えたことも大きな収穫であったと思います。一人の力は限界がありますが集結したみんなの力は無限であると思います。これからも地道に活動することが大きな力になると思いました。

最後に、宮城県看護連盟及び青年部スタッフ、参加した皆さま本当にご苦労様でした。

秋田県看護連盟青年部委員長 藤原 祥隆

第一部

齋田トキ子氏の講演では看護師は生涯現役であるという事を、まじまじと感じさせられる講演だったと思う。「まだ91歳と2カ月です」と、自己紹介されたことがとても印象深かった。自分の看護師としての人生を振り返り、戦前から従軍看護婦として活躍され、現在に至るまで看護師となって73年間、医療看護制度の変容、看護教育の変化、看護連盟の誕生、国政に看護職を送ることの大切さを実際に体験された事を力強くお話し下さいました。また、「若者は未来をつくる希望です」「看護は人類が生存する限り永久不滅です」「看護は心の故郷です」と、若者にむけて熱いメッセージを送り、30分では語りつくせない濃い内容であった。看護連盟に対しても「看護連盟は看護の原動力」と、日本の看護にとって「政治」はいかに大切であるのかという事を改めて学ぶことが出来た。

第二部

「仲間をさそって選挙に行こう」と題し、グループワークを行った。

私のグループでの内容としては以下の通り。

<若者がなぜ選挙に行かないのか>

- ・誰に投票したらいいのかわからない。情報をどこで知ればいいのか分からない。
- ・票を入れても、メリットを感じられない。結果がすぐわからない。
- ・そもそも選挙に関心がない。めんどくさい感じがする。なかなか誘っていかない。
- ・投票の仕方がわからない。投票所が怖い。

<投票に行くためには>

- ・投票しやすい環境を整備する(デパート等に投票場を増やす、模擬投票などをして練習できる環境を作る)。
- ・はがきがなくても投票できることなど、情報を発信する。
- ・18歳の若者に対し、難しい言葉ではなく分かりやすい文章などでパンフレット等を作成する。
- ・立候補している人を知る機会をもっと増やす。

ポリナビの反省

グループワークをもう少しスムーズに進められるよう、話す内容など具体的に示してほしかった。また、各グループのファシリテーターが司会や書記を担当しており、参加者があまり発言しない場面が見受けられた。(ファシリテーターをグループに初めから入れない方がよかったのでは?) 発表者、書記が事前に決められていること(シール)を、各県の委員長等に事前に知らせておくのと良かったのではと感じている。



北海道・東北ブロックポリ

(平成28年5月7日)

岩手県看護連盟青年部 委員長 昆 美代子

平成28年5月7日(土)13:00～15:00「看護の未来を見つめて」をテーマに、平成28年度の北海道東北ブロックポリナビワークショップ in 宮城が開催されました。

基調講演はナイチンゲール記章を授章された齊田トキ子先生から「看護師を議員として国政に送る活動」と題し、歴史的背景を含めて看護職の代表を国政に送る意義について学ぶことができました。

齊田先生の講演を聴くことができたことは、大変貴重な経験となりました。自分の母校の元教授であり、新設の基盤づくりをされた方ということを知ることができ、そのようなところで自分も学んでいたことに改めて感銘を受けました。

今年は参議院議員選挙の年でもあるため、このようなテーマでしたが、次の機会には看護についての話を深く聞いてみたいと思いました。

グループワークは、「仲間を誘って選挙に行こう」ということで、それぞれの選挙についてのイメージや投票に行ったことがあるか、なぜ投票に行かないのかなど、それぞれ意見が活発に出されました。

初めて会った人同士のため、話すきっかけが必要となり、各グループにファシリテーターがいたことで、きっかけ作りの役になり、スムーズに会話を進めていくことができたと思います。昨年、岩手で開催した時は、ファシリテーターが複数のグループを担当したため、ファシリテーターの負担が大きかったと思います。また、アンケート結果では、ファシリテーターの良かった点とこうして欲しかったという点と、個人によって意見がそれぞれではあったが、各グループに1～2名配置しておくことも利点が大きいと思いました。

今後このような活動を続けていくことによって、一人でも多くの若手看護師に政治に関心を持ってもらい、看護の代表を国政に送る意義を広めていければと思います。



岩手県看護連盟青年部 副委員長 佐藤 彩香

今回、北海道東北ブロックポリナビワークショップに参加して、基調講演の講師・テーマの選定がとてもよかったと思います。齊田トキ子先生が看護人生と看護政治の歴史をわかりやすくお話していただき、「看護連盟は看護の力の原動力」という言葉が印象的でした。

グループワークで私はファシリテーターでしたが、私のグループは意見が活発に出たためあまり調整をしなくてもすみました。テーマも話しやすいもので、貴重な意見交換の場となりました。グループのほとんどが各県の青年部(30歳代?)で、会場全体を見ても、もう少し20歳代の参加が多ければよかったと思います。

たかがい先生の講演はいつも熱い気持ちが伝わり、聴いていて本当に応援したくなる内容でした。

全体を通しては、進行もスムーズで、基調講演の時間が押してもグループワークで臨機応変に時間調節して、時間内に収められてよかったと思います。今後自分たちが研修会などする際も、講演は押すこともあり時間調節の枠を考えておくことを改めて実感しました。模擬投票のアイデアもよかったと思います。

会議や準備など何ヶ月も前から大変だったと思います。私たち青年部が先頭に立ち看護の若手たちが少しでも働きやすくよりよい環境になるようお互いがんばりましょう!!

本当にお疲れ様でした。

岩手県看護連盟青年部 副委員長 畠山 直美

私は5月7日に開催されたポリナビワークショップ in 仙台に参加しました。

今回はファシリテーターとして参加しました。ポリナビ開催前に各県の青年部と集まり、今回のポリナビの内容や、今までのポリナビを開催しての良かった点、悪かった点や、グループワークの進め方やファシリテーターとしての役割など意見交換しました。

各県の青年部の皆さんとは何度かお会いしていたので情報交換を密にとることができました。開催県が主ではありますが、各県の青年部も協力してポリナビを開催することができたと思います。

私たちがポリナビでの反省点として後片付けの役割分担が曖昧だったことやアンケート結果からグループワークの内容が難しかったことを挙げました。

これからも、北海道東北ブロックポリナビや各県での研修会などで良かった点や悪かった点を参考にしながら更なる改善をして、より良いポリナビや研修会を開催できたいと思いました。

ナビワークショップ in 宮城

仙台ガーデンパレス

山形県看護連盟青年部 伊藤 雄大

基調講演 齊田トキ子先生による「看護職員を国政へおくる理由」を公演していただき、日本の医療・看護は政治活動と看護行政で変革を繰り返し、現在の医療制度や看護制度などの政策を作り上げてきたことを知ることができた。

また、齊田トキ子先生の看護職就任から、73年という長いときを歩まれ、看護職として常に知識・技術・豊かな心を磨いていく献身的な努力が看護の質の向上に繋がると学ぶことができた。

グループワークでは、18歳から選挙できる→「そもそも選挙とは？」「選挙って誰がどうい政策を掲げているの？」といった意見や本音を出し合い活発に意見交換していった。その中で政治活動を身近で見るといって講義をひらいていくことでより興味・関心を持つことができるのではないかな等の見解に至った。

しかしグループワークの時間が少なかつたため、話がまとまらず結果途中の段階で話し合いが終わってしまった。実施に仲間を誘って選挙へ行くのは難しいのではないかなという意見があり、家族間での選挙が自然でその支援をしていくためにはどうしたら良いのかという意見もあった。

今回、私は実行委員としてではなく一般参加でしたが、宮城県看護連盟役員はじめ実行委員の方々、ブロックポリナビまでの期間、相当な時間と労働をかけて準備されたことと思います。本当にお疲れ様でした。

山形県も来年度のブロックポリナビに向けて頑張っています。

福島県看護連盟青年部委員長 相田 勝寛

今回、北海道・東北ブロックポリナビ、実行委員として参加させていただきました。まずは宮城県看護連盟及び青年部の皆様、大変お疲れ様でした。

さて、参加しての感想ですが、齊田先生の講演についてパワーポイントを使用していたため、先生も時間配分を考慮しながら進められていたようで、時間が少々遅れたことも気になりませんでした。周囲も先生の話に耳を傾け、貴重な時間となったかと思えます。しかし、20分という短い時間の中で、先生が本当に伝えたいことが伝えられたかが心配になりました。

グループワークについては、参加者一人一人が選挙に対する考えや思いを述べていました。若者が選挙に参加しない理由は新聞やテレビの報道の通り、難しい・意味がないという意見があり、見返りを求めている参加者もいました。しかし、齊田先生の講演を聞くことができ、そこから選挙の大切さを知ったうえで友人や職場スタッフをどうやって選挙に誘うかという話の流れができたため、とてもやりやすいグループワークとなりました。また、ファシリテータの役割も与えられましたが、司会・発表者を予め決めることでスムーズな話し合いをすることができたと感じました。

その後の高階参議院議員の講演も、全体の流れの中うまく入っている内容で、参加者が国政に看護の代表を送ることや選挙の大切さを改めて知るきっかけになったと感じました。そして、会場全体に一体感を感じられるポリナビになり、とても良かったと思います。ただし残念だったのは、ゴールデンウィーク中とあってか参加人数が少数であったように感じました。高階参議院議員の出身地でもあったため、参加者については期待もありましたが、日程も考えると仕方がないと考えざるを得ない状況でした。

最後に、限られた時間の中でこのような盛大なポリナビを開催していただいた宮城県看護連盟、青年部の皆さんに感謝したいと思います。今回も実行委員として参加でき、とても楽しかったです。ありがとうございました。



たかがい恵美子 (平成28年5月7日)



たかがい恵美子総決起大会に参加して

東北公済病院 高橋ひとみ

新緑が映える、5月7日、仙台ガーデンパレスに於いて「たかがい恵美子総決起大会」が盛大に開催されました。たかがい議員の挨拶の前には、衆議院伊藤信太郎議員、参議院熊谷大議員はじめ多くのご来賓の国会議員・地方議員からの応援演説をいただき、思いを一つにして会場は熱気に包まれました。たかがい議員からは国政の動きを説明していただき、2025年問題を踏まえた今後の活動についてお話を伺うことができました。その中で「ベツサイドから政治を変える」には、看護職の議員が必要であると痛感しました。最後に全員で「やりがい、生きがい、熊谷、たかがい」のコールを行い、会が終了しました。

私も同じ古川女子高そして加美町出身者として、たかがい議員を応援し今後ますますの活躍をご期待したいと強く願い、できる活動をしてまいります。



総決起大会

仙台ガーデンパレス



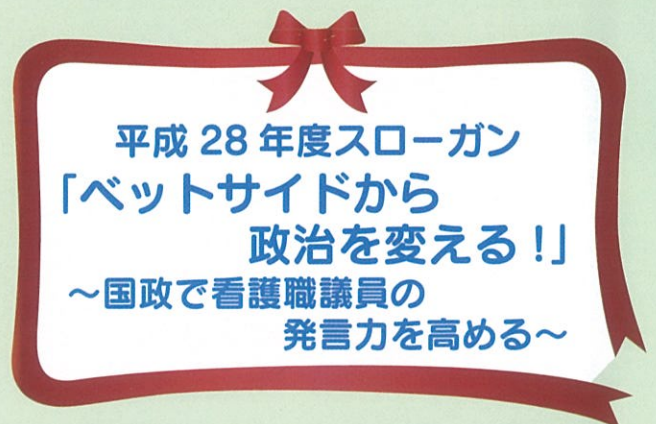
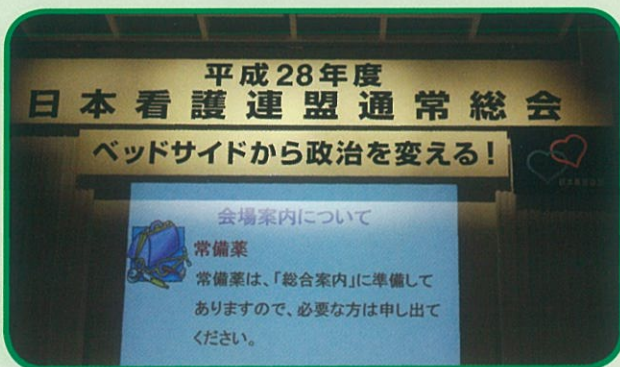
日本看護連盟通

平成28年6月14日

平成28年度日本看護連盟通常総会に参加して

東北公済病院 高橋ひとみ

草間会長から看護政策の実現を図るためにさらなる組織の強化を目指すという力強い挨拶があり総会が進行しました。審議事項が全て承認された中で、宮城県から渋井勝江さんが名誉会員として、さらに本部幹事として尾形妙子さんが承認されたことは、大変喜ばしい限りでした。総会には多くの国会議員が応援に駆け付け、たかがい恵美子議員からは「看護の力で社会の生きる力を作り出す」という決意が高らかに表明され会場拍手喝采にて閉会となりました。



名誉会員の表彰を受けて

富田きよ子会長・渋井勝江様と



常総会開かれる

(ザ・プリンスパークタワー東京)

平成28年度日本看護連盟通常総会に参加して

広南病院 津田 泰子

日本看護協会 坂本すが会長からの看護の将来ビジョンのお話で、医療と生活の質を支えることのできる看護力を実現するためには「看護教育制度の4年制化」の実現。高い技術と知識・判断力を身に着けた「チーム医療のキーパーソン」として高度な調整力を持った看護師の育成が必要なのだろうという事。更にコミュニケーション技術、自分自身をコーチングする能力をも習得するためには4年の中での教育が必要である。これらの実現を含めて、行政の力が必要であり、たかがい恵美子さんには、私達の代表として看護職が輝くために必要な事だと理解することが出来ました。これを受けて今、現場で働く看護師の質の向上が不可欠であると再認識することが出来ました。

国会見学 (H28.6.13)

会員45名で参加しました



たかがい議員のイスに
すわってにっこり



宮城県看護連盟

平成28年6月25日

宮城県看護連盟総会に参加して

東北薬科大学病院 伊藤 和子

宮城県看護連盟の平成28年度通常総会は、来賓に名誉会員、佃祥子宮城県看護協会会長、衆議院伊藤信太郎議員、県議会・市議会議員の方々をお迎えし盛大に執り行われました。出席会員118名、委任状提出会員1,511名、合わせて1,629名の信任をうけ、平成27年度報告と審議事項第1号議案から第4号議案まで可決されました。私たち看護職は、「現場の声」を処遇改善や職場環境改善につなげるために、私たちの代表である看護職議員が、国政の場で変革のリーダーとして活躍していただくことだと強く感じました。



通常総会開催

(仙台ガーデンパレス)

大泉記念病院 鈴木沙絵子

私は今回の看護連盟総会で、多くの学びを得ることができました。全国からたくさんの看護師が集まる様子を見て、看護現場はこれほど多くの看護師が共に働き作り上げているのだと実感することが出来ました。総会を期に、たかがい議員がいかに看護現場に必要なことを迅速に国に代弁して下さったかを知る新たな機会となり、国会に看護師がいることの大切さを学ぶ機会となりました。今回の選挙が看護現場に新たな変化をもたらす機会となることを願っています。

大泉記念病院 小林 葵

私は、6月13日、14日に看護連盟の総会に出席させていただきました。私は今まで選挙に消極的で、自分たちとは無関係だと思っていましたが、選挙は自分たちの生活を変えるためにあるのだと感ずることができました。

たかがいさんは、看護師の待遇を改善するために非常に頑張っておられます。このことをもっと多くの看護師に知っていただくために、私たちは活動していかなければならないと思いました。

会員研修会(2)

平成28年6月25日(土)(仙台ガーデンパレス)

講演:ナースコールデータの履歴分析から見える課題と対策

講師:今屋 健治(株式会社ケアコム)

